

計画の基本理念・基本方針について

(1) 基本理念

基本理念

豊かな歴史・文化にはぐくまれながら、一人ひとりにふさわしく、
いきいきと充実した生活を送れるまちの実現

「豊かな歴史と文化」は単なる枕詞ではなく、遠く古代より発展し続けてきた歴史と文化により、人と人がつながり、はぐくまれ、受け継がれてきた意味合いをもつ。

今回からは、基本理念に説明を加えることとする。

◆説明◆

住み慣れた地域の中で培った人と人、人と地域のつながりを保ちながら、市内の各地域で受け継がれた豊かな歴史と文化を次世代に継承する役割を、高齢者は今までも、そしてこれからも担っていきます。住民一人ひとりが、生きがいを感じながら、いきいきと充実した生活を送ることができるような社会の実現をめざします。

(2) 基本方針

基本方針

住み慣れた地域で 健幸^(※1)で 見守り・支え合うまちの実現を
めざします

第7期計画では、団塊の世代が75歳以上となる2025年(令和7年)を見据え、介護予防の視点を重視し、地域包括ケアシステムの深化と推進に取り組み、「自助」「互助」「共助」「公助」の役割が適切に機能するような仕組みづくりを行ってきました。

基本理念に基づき、計画の期間3年間の目指す方向性を基本方針で定めることとします。

◆説明◆

第8期計画においては、2025年に向けた地域包括ケアシステムの更なる推進と団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年(令和22年)を見据え、地域共生社会^(※2)の実現に向け、住み慣れた地域で、高齢者一人ひとりが健康で、生きがいを持ちながら、人と人、人と地域がつながり、地域でお互いに見守り・支え合うまちの実現に向けた取組をすすめていきます。

また、基本方針は、川越市総合計画の福祉・保健・医療分野の基本目標である「住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち」及び川越市地域福祉計画の基本理念である「笑顔で迎え 出会いが つながり 絆が深まるまち 川越」に通ずるものとなりました。

- ※1 「健幸」とは、身体面での健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れることを意味する造語で、近年、「健幸社会」「健幸都市」づくりに向けて活動をしている自治体もあります。
- ※2 地域共生社会の実現については、「ニッポン一億総活躍プラン」（平成28年6月2日閣議決定）で示され、地域共生社会の理念である「高齢者介護、障害福祉、児童福祉、生活困窮者支援などの制度・分野の枠や、「支える側」、「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会が つながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる包摂的な社会」の実現をめざすものです。